

[特別セッション]

インタラクティブメディアの保存と調査

パネリスト

森川嘉一郎 (明治大学国際日本学部)
山田 俊幸 (米沢嘉博記念図書館)
岩城進之介 (株式会社ドワンゴ)
伊豫田旭彦 (株式会社ドワンゴ)

司会進行

福地健太郎 (明治大学総合数理学部)

書籍や絵画、彫刻は図書館や美術館などに収蔵・展示され、その内容を後世に伝えるための様々な努力が続けられています。しかし、こと「体験」の保存となると、非常に難しい問題が沢山残っています。特にインタラクションはその性質上、ハードウェアが密接に関わってくるため、動態保存の問題はコンテンツやソフトウェアとは事情が異なっており、ビデオゲームやインタラクティブアート、大型アトラクションなどの体験を後世に伝える上で大きな障害があります。加えて、「作ってみた」系の作品や動画サイトにおけるコメントなどは保存への取り組みもほとんど手がつけられていません。このことは、今後こうした分野を対象とした調査研究を一層困難にします。

そうした動きの中で、草の根による保存の努力も注目されており、例えば「作ってみた」とDIY的にレプリカを作り出す例や、有志による保存の例も増えてきています。今回のヒューマンコンピュータインタラクション研究会の特別セッションでは、こうした動態保存の問題に取り組んでいる人々をお招きして、「インタラクションの継承」という問題に切り込んでいきます。